

県内のイノシシ防護柵の設置事例

(「平成15年度農作物鳥獣被害防止強化対策事業」の実績より)

1 一般的な防護柵

トタン板



阿武郡須佐町弥富6区の事例(経費はm当たり300円)

【特徴】

- ・イノシシの下からの進入時に、トタン板が持ち上がらないよう杭で押さえる工夫がされた柵。

【注意点】

- ・遮へい性は高いが、トタン板の高さは75cmなので、被害常襲地域では飛び越える個体もいる
(イノシシの跳躍力は120cm)

電気柵(2段)



阿武郡阿東町生雲中地区の事例(経費はm当たり200円)

【特徴】

- ・2段(地際から20cm、40cm程度)に通電線を張り、ソーラー電池で管理しやすくした柵。

【注意点】

- ・遮へい性と強度が低いので、被害常襲地域では昼間でも通電させる等の注意が必要。
- ・下草刈りを丁寧にしないと、漏電して効果がなくなる。

金網フェンス



阿武郡阿東町嘉年上地区の事例(経費はm当たり497円)

【特徴】

- ・飛び越えないよう120cmの高さまで金網を配し、強靱な支柱で補強した柵。

【注意点】

- ・遮へい性が低いので、被害常襲地域では支柱が弱いと進入されてしまうことがある。

2 被害常襲地域の防護柵

トタン板、電気柵、金網、ネット等を組み合わせ、それぞれの欠点を補うような複層柵の防護効果は高い。

電気柵 + ネット柵



山口市小鯖地区の事例（経費は電気柵の補強分m当たり232円）

【特徴】

- ・ ネット柵の外側に電気柵を配した複合柵。
- ・ 強度が弱いけど遮へい性が高いネットを、電気柵で補強するよう工夫されている。

トタン板 + 金網フェンス



厚狭郡山陽町山野井地区の事例（経費は金網フェンスの補強分m当たり740円）

【特徴】

- ・ トタン板の上部に金網フェンスを配した複合柵。
- ・ 遮へい性は良いが高さの低いトタン板の上部を金網で嵩上げするとともに、支柱も補強するよう工夫されている。

トタン板 + ネット柵 + 金網フェンス



美祢郡美東町長田地区の事例（経費は金網フェンスの補強分m当たり553円）

【特徴】

- ・ トタン板の上部にネットを配し、その外側に金網フェンスを配した複合柵。
- ・ トタン板 + ネット柵の支柱が弱いため、外側を金網フェンスで補強するよう工夫されている。